

43

386

桑原可行著述

岡山縣會議員候補者列傳

之部 窪屋郡

〔非賣品〕

004158-000-2

特17-257

岡山縣會議員候補者列傳

桑原 可行 / 著

M25

ACE-0512



岡山縣會議員候補者列傳 (窪屋郡ノ部)

林 醇平君

岡山縣會議員中能ク其事務ニ熟練シ辨論爽快立

ムルモノ誰トイハ、必ズ先ツ現今副議長兼

常置委員林醇平君ヲ以テ第一位ニ置カザルハナシ君窪屋

郡倉敷町ノ人彼ノ有名ナル林孚一翁ノ第二子ナリ幼ニシ

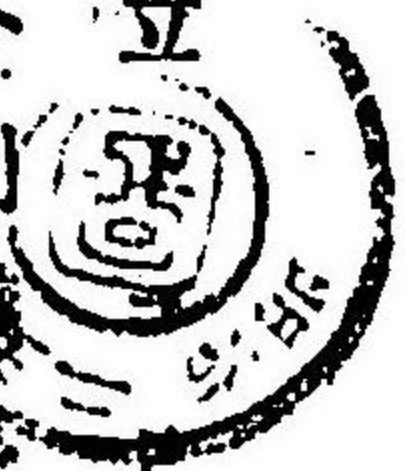
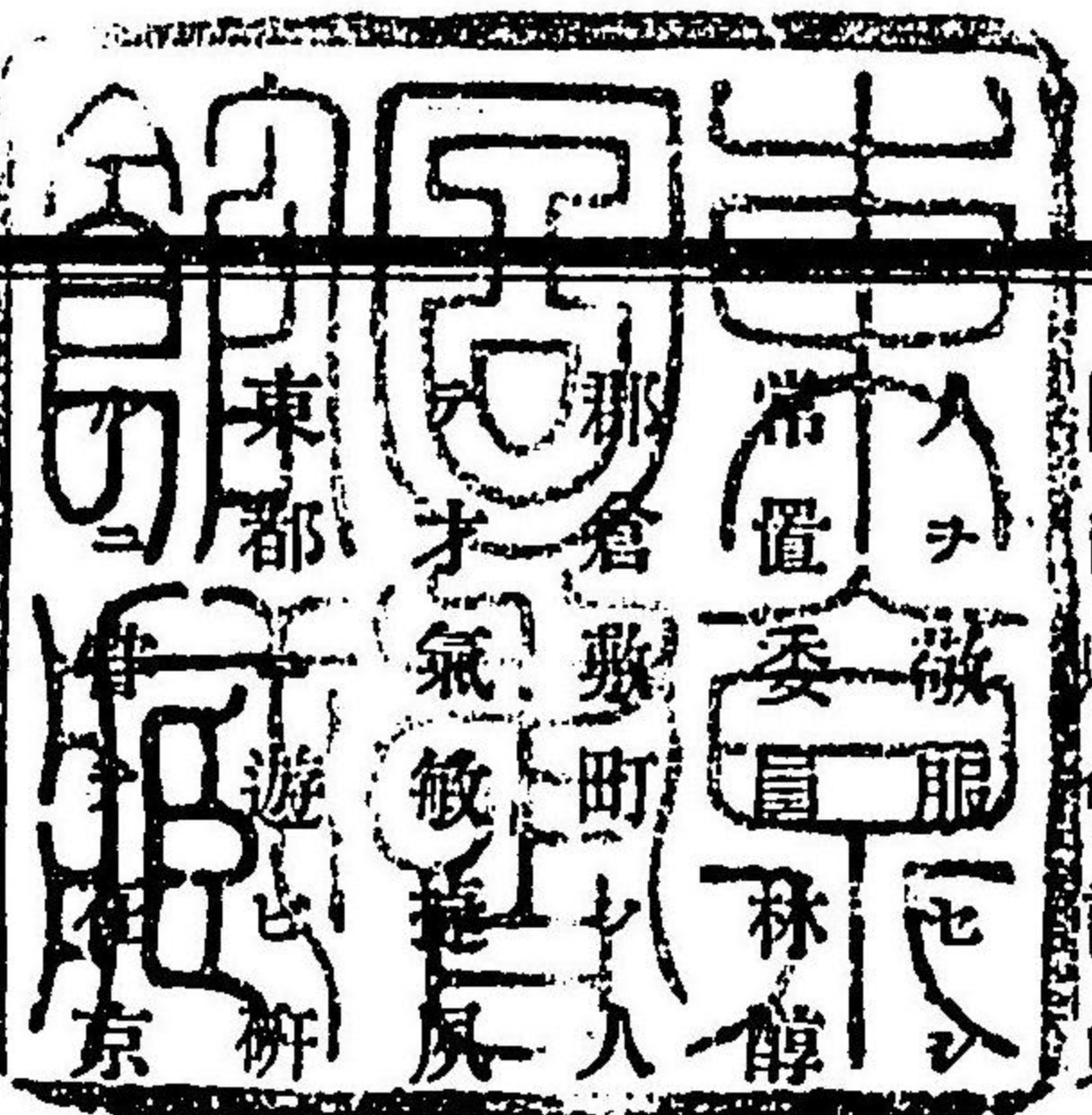
テ才氣敏捷夙ニ犬飼松窓翁ノ門ニ入り漢學ヲ修メ又去テ

東都遊ヒ研學スル所アリシガ故アツテ中途歸郷セリ然

レ以テ同シク告發サレ郷里ニ於テ一時囹圄ニ伸吟セシコ

トアルモ須臾ニシテ出獄セリ當時日本全國中投書家ノ爵

諱ニ觸レ同新聞編輯人ハ告發サレムリ君投書家タルノ故



セラル、モノ甚々稀ナリ蓋シ君ヲ以テ嚆矢トナスト云フ
明治十二年府縣會規則發布サレ地方議會ノ組織ナルヤ君
撰ハレテ全議員トナリ議場ニ列席セリ時ニ年二十有六纔
カニ規定ノ年齢ニ達スルヲ得タルナリ而シテ君議場ニ在
ルヤ辨論快活爲メニ老輩議員ヲシテ舌ヲ卷カシメ君ノ名
論ニ服セシムルコト屢々ナリ其後常置委員ノ設ケアルヤ
又撰ハレテ其任ニ當リ爾后今日ニ至ルマア改選期毎ニ議
員トナラザルハナク常置委員トナラザルハナシ殊ニ去ル
明治廿三年二月臨時縣會ニ於テ縣會正副議長ノ改選アル
ヤ君又副議長ノ名譽職ニ當撰シ現ニ其任ヲ保テリ今ヤ來
二月一日ヲ以テ任滿チ改選期ニ逢遇セリ然リト雖也是迄
ノ形勢ト君ノ功勞アルトニ因テ徵セハ必ラズヤ重撰シ議

員トナルヲ得ベク然ラハ全月下旬若クハ三月上旬ニ開ク
臨時縣會ニ於テハ君必ズヤ議長ノ席ニ着クハ期シテ俟ツ
ベキナリ以上ハ君ガ地方政治上ニ於ケル經歷ナリ然レト
モ倉敷紡績所ヲ大原、大橋、木山、小松原ノ諸氏ト創立セシカ
如キ山陽鉄道會社創立發起者トナリ倉敷銀行創立者トナ
ルガ如キ實業上ノ經歷又少シトセズ故ニ君ハ將來縣會議
長トナリ地方議會ノ決議權ヲ掌握シ進ンテ衆議院議員ト
ナル蓋シ易々タルノミ誠ニ家翁ヲ耻カシメザルト謂ツベ
シ

風早雲嶂君

村長、徵兵參事員、所得稅調查委員、及ヒ縣會議員ノ諸名譽職
ヲ一身ニ負擔セルモノ甚々稀ナリ獨リ窪屋郡山手村大字

地頭片山ノ醫師風早雲嶂君ハ之ヲ擔ヘリ蓋シ人皆以テ異
 數トナス故ニ君ノ本業タル醫師ノ如キハ到底患家ノ求メ
 ニ應ズル能ハザルヲ以テ青年ノ醫學校卒業生某ヲ雇入レ
 僅カニ其求メニ應セシメントテ新聞紙ニ廣告シタリ時ニ
 同地方ノ人々君ニ對シテ多數ノ名譽職ヲ負擔シ貰ヒタル
 ガ爲メ君ガ本職ノ醫業ヲ執ル能ハザルヲ氣毒ニ思フノミ
 ナラズ常ニ君ヲ信任シテ自己ノ生命ヲ托シ診察投藥シ貰
 ヘザルヲ遺憾トナスモノ少カラザリシト云フ「君資性温良
 寡言敢テ妄リニ口ヲ開カズ縣會議場ニ於ケルモ亦寡言故
 ニ君ノ發言ヲ聞クニ稀ナリ蓋シ開會中三四言ニシテ止
 マルノミ」今ヤ任期滿チテ改選期ニ逢ヘリ聞ク君又撰出サ
 レント欲シ候補者トシテ打出シタリト已ニ村長、徵兵參事

員、所得稅調査委員ノ三名譽職ヲ帶ビ尙ホ進ンテ再ビ縣會
 議員トナラントス實ニ名譽ニ於ケル多情ノ人士ト評セザ
 ルヲ得ザルナリ諺ニ曰ク二兎ヲ逐フ者ハ一兎ヲ得ズト君
 已ニ三兎ヲ得タリ然ルニ今ヤ尙ホ一兎ヲ得テ四兎トナサ
 ントス撰擧ノ曉君果シテ此一兎ヲ得テ再ヒ縣會議員トナ
 ルヤ否、括目シテ見ント欲スルノミ

小松原慶太郎君

縣會議員トナリ得ルノ才且名望アルモ常ニ先輩ノ爲メニ
 其目的ヲ達セザル者小松原慶太郎君トナス君熱心ノ實業
 家ニシテ同社會ニ於ケル其名夙ニ顯ハル故ニ本縣下ニ於
 テ青年有爲ノ實業家トイハ、問ズシテ人皆君ヲ以テ答フ
 君備中倉敷ノ人同所阿知町ニ生ル幼ニシテ穎悟同輩ト異

リ出藍ノ譽アリ居常實業ヲ以テ世ニ立クント熱望シテ止
マザリシ明治廿年ノ頃ニ至リ金融緩慢ニシテ商況振ハザ
ルト貧民ノ産業ナキニ苦ムトテ憂ヘ一日窪屋郡懇親會席
上ニ於テ君ガ兼テ設計セル綿糸紡績ノ工業ヲ起サソコト
ヲ得意ノ辯論ヲ以テ演說シタルニ滿場ノ唱采ト賛成ヲ得
遂ニ有志聯合シテ發起者數名ヲ設ケタリ君撰ハレテ上京
シ農商務省其他紳商及ヒ經濟學士ト相往來シ需用ト供給
ノ比較ヲ研究シ數旬ノ後チ意ヲ決シ歸郷ノ上資本金十五
萬圓ヲ募集シ是レガ設立ヲ見ルニ至レリ目今ノ倉敷紡績
所是レナリ君又株主ノ投票多數ヲ以テ取締役ニ上任シ爾
后營業日チ追フテ大盛ニ赴キ最初ノ目的タリシ貧民ニ産
業ヲ授ケ加之同地方ニ工業心ヲ發達セシメ爾后陸續諸工

業ノ勃興シ爲メニ倉敷町ノ面目チ一新セシメタルハ君ノ
力與テ功アリト云フモ蓋シ過言ニアラザルナリ明治二十
三年全國紡績業者ガ設立セル綿糸紡績聯合會ニ於テ理事
撰定委員ニ撰舉サレ昨年同會チ東京帝國ホテルニ開クニ
當テ君倉敷紡績所チ代表シテ出席シタルニ同會議ニ於テ
全國三十六會社中ヨリ四名ノ委員ヲ撰舉シ中央政府及帝
國議院へ綿糸輸出税蠲免、綿花輸入税蠲免ノ事ヲ請願スル
ニ決スルヤ君又其委員ニ撰ハレ農商務、内務、大藏、外務ノ各
國務大臣ニ面接シ意見ヲ縷述シ遂ニ閣議ニ上ホルノ運チ
ナシ貴族院ハ富田鉄之助、渡邊甚吉ノ兩貴族院議員ト衆議
院ハ各派三名ノ紹介議員ヲ得テ請願書ヲ奉呈シタリ然レ
トモ衆議院解散ノ後ハ一先ッ歸縣シ目下家ニ在ルモ不日

再ビ上京シ中央政府ニ向ヒ充分ノ運動ヲナサント設計中
ナリト云フ實ニ此蠲免ノ事タル黨派問題ニ關係セザルト
君ノ奔走盡力トニヨリ遂ニ好果ヲ得ルニ至ラシ君性淡泊
隔意ナク何人ト雖トモ快談夜ヲ徹ス林醇平君ト交情密ナ
リ故ニ林君ノ關スル實業多クハ君亦關係アラザルハナシ
今ヤ縣會議員改選期ニ當レルヲ以テ君候補者ノ地位ニ立
テリト聞ク君ニシテ一タビ縣會議員トナリ議席ニ列セバ
得意ノ辯論ト名説トヲ以テ滿場ヲ蹂躪壓倒スルナラント
ハ何人モ信シテ疑ハザル所ナリ君現今倉敷紡績所取締役、
倉敷銀行監査役、大日本綿糸紡績同業聯合會委員ニシテ其
他町會議員ノ如キ公務ニ關シタル經歷ハ枚擧ニ遑アラザ
ルナリ

木山精一君

君備中倉敷ノ人資性温行篤實謙讓ノ氣ニ富ム故ニ人ト事
ヲ争ハズ春秋已ニ高シ常ニ實業ニ熱心シ林醇平君、大橋良
平君、小松原慶太郎君ノ如キ後輩諸氏ト倉敷紡績所、倉敷銀
行等ヲ起シ盛ニ營業ヲナセリ君嘗テ縣會議員トナリ一期
間其任ニ在リ然レモ他ノ才子議員ノ如ク快活事ヲ斷セザ
ルヲ以テ其名左程ニ聞ヘザリシ明治廿一年縣會議員改選
ノ際君謙讓ノ氣ニ富ムヲ以テ冷然タリシ際風早雲嶂君隱
ニ運動ヲナシ遂ニ同君ノ當撰トナルヤ君冷然タリシヲ悔
ヒ不意打カレタルヲ遺憾トナシ爲メニ競争心勃興シ君ガ
平素謙讓ノ氣ハ終ニ此競争心ヲ抑壓シ得ザリシモノト見
ヘ昨今ノ縣會議員改選期ニ際シ君候補者ノ地位ニ立チ先

年會稽ノ耻ヲ雪カントテ己ニ運動ニ着手セリト嗚呼君ハ
温行篤實ノ士ナリ名望ノ士ナリ然ルニ目今ノ如キ窪屋郡
中十數名ノ候補者顯出セル中ニ立テ運動ヲナスハ君ノ爲
ニ取ラザルノミナラズ撰舉投票開函ノ曉ニ至リ落第者ト
ナリ君ノ名勢ニ傷カンコトヲ恐ル、ノミ如カズ此大人ナ
ゲナキ事ニ關係セズ君ノ本性タル謙讓ノ實ヲ舉ゲ有爲ノ
士ニ讓リ其温行篤實ト名望トヲ維持セシコトヲ望ムモノ
多シト云フ

編者曰ク此他植田年、神崎清三郎、三宅璋平ノ諸氏候補者
タリシモ植田、三宅二氏ハ辭任シ神崎氏ハ別ニ名勢ヲ聞
カザルヲ以テ畧ス

明治廿五年一月二十四日印刷
明治廿五年一月二十六日出版

非賣品

岡山市大字三番町十三番邸士族

著述者兼
發行者

桑原 可行

岡山市大字平野町三十四番邸平民

印刷者

西尾 大吉

